

夕日七十月七



定価一圓五錢
 廣告料五錢
 印刷所 常野毎日印刷株式會社
 電話 六三〇番

人間のねうち

佐田 至弘

新しい時代に於ける一人前の人間になれるやう、常に自己を鍛へよ。そして新しい時代のくるやう努力せよ。他人に頼るものは自分の満足する時代に遭遇することはないであらう。

原因がなくて結果はないこれが事實である力が出る原因がなくて力が出ることはない。處が世間には、力の泉に根をさし込んでゐないで、しかも、自分のうちに力が満ちてゐるやうな顔をしてゐる人がある、力は見かけから出るものではなく、うちから自然に出てくるもので見かけの力は鍍金と同じくはげる。しかし泉から出る力ははげない、この泉から根が力を吸ひあげること、何かの理由でさまたげられた時は別であるが、この泉に根がさしこまれてゐて、そこから力があふれ出てくる以上、その人は力をもたないわけにはゆかない。だから自分は強さうなことを云ひ、偉さうにしてゐる人に出逢ふと、その根を見る。そして「ごまかしても駄目だよ」と思ふ。利慾から出た力は、力を

出すと損をする時には出ない。さういふ力は利慾心にうちかたないものである。名譽心から出た力は、評判で動かされる、それ以上の力は出ない。

利己的な愛から出る力は相手が死ぬ時には亡びてしまふ。生理的の力は、齡をとれば衰へる、大衆から出た力は、大衆に背かれればそれでおしまひとなる。

人々は力が出る泉を見ないで、その人の力を計らうとする。そしてつひにあざむかれる、その人の力が出る泉を見る時、その人の力の限度は自らわかるものである。

「己が正しいと信ずることを行へ、これこそ、力の

我國の金貨の品位は純金九割に銅一割、銀貨は純銀七割二分に銅二割八分

泉へゆく道である」何が正しいのか、それをほんとうに知る者が力の泉を見出すことの出来るものである。

大自然の意志を行へ、これが力の泉へゆく道である。「天を敬ひ、隣人を愛せ、これが力の泉へゆく道である。

「自分の力のありつたけをつくして天命をまて！」

- ◇ 明日の献立 ◇
- ◇ 朝味噌汁一なす ◇
- ◇ 晝煮付一いか 焼豆腐 ◇
- ◇ 晩南瓜甘煮 豆腐 あんかけ ◇

をの天命こそ、力の泉である。權威はそこから生れる。「力の泉のある」場所はきまつてゐる。

けれども、間違つたところに根を張つて、いかににも力のありさうな、また權威のありさうな顔をしてゐる者を見る。と哀れな氣がする。

さぞかし當人の腹のなか心のなかにいつも換き亂ざれ、空虚であらう、空虚なところ根をさし込んで力を吸ひとらうとしてもそれは結局駄目である。

一時的には力の湧くこともあらう。人氣もあらう、しかしそれは確さのないものである、だから偉さうにしてつても心が浮き足もとがぐらついてゐる、言葉があいまいである。

ほんとうの力は、ほんとうの力の泉からのみくみとれるものである。

耳鼻喉科専門
 平町田町七〇番地
 山内醫院
 醫學士 山内亨吉
 電話六九二番

喜多流謠曲と仕舞の
 お稽古をお勧め致します
 平町田町九六
 喜多流 謠曲 白土會
 詳細は本會へ御問合せ下さい 電一

吉田眼科病院
 平野屋町電話六八番
 醫學士 吉田 久雄

中村齒科醫院
 平町 鍛冶町七

店主が店員	を連れて行	か	正シイ	正シイ	正シイ	正シイ	平・田町
		れる	食堂	喫茶	酒場	レストサロン	電三五二番

すばらしい新型の
 婦人子供服豊富
 一流デパート専屬の婦人子供服製造元よりの直仕入たる新型服は店內豊富に陳列してございます。夜の御散歩には是非店内を御自由に御覽下さい。
 平町二丁目
 山家メリヤス店
 電話六〇五番

吸入用酸素純度 99%
 度量衡器
 秤ノ取緒・垂糸・修繕致シマス
 開内藥局
 電話四〇番
 寫真材料一式販賣致シマス

お醤油は ヤマフル
 醬油味噌
 たひら 正宗
 鯉節 食料品
 鹽 屋
 山崎合名會社
 福島縣平町(電話營業部二〇醸造工場宅)
 明治生命磐城代理店 山崎 與三郎

待望の古川改修

愈よ工事着手

一切の準備を整へ 今秋の刈上を待つ

高橋改修事務所長語る

夏井川改修工事の附帯工事たる古川改修工事はその元締である夏井川改修事務所に於いて夏井川改修が一應**完成**を告げ次第工事古川に移動する豫定であるが平町の熱烈なる可急的實施要望に動かされ是非今年度中に着手すべく方針を變更してその後慎重なる態度を持し種々準備中の慮愈よ今秋の收穫を終る十一月下旬より

本工事に着手する事に決定、別項の如く明十八日より約二ヶ月に亘つて改修工事の全工程である古川河口より常磐線驛橋下に至る延長二里の河川測量の結果に基づき詳細なる**設計**を樹てる筈であるが目下豫定の今年度工程は河口より開始し千米程度に至る迄で十一月より三月末までに完成、残工事を十一年度即ち三ヶ年繼續工事として全工事を完成する計畫であるが着手を急ぐ

係から十一月までに全地主との潰地
買収を済せる等同事務所では此の工事を控へて今や大童べとなつてゐる、右に就き高橋改修事務所長は語る

『平町地方民永年の要望である古川改修も愈よ今秋から着手と決定致しました、九年度の工程は約千米程度で工費は夏井川の附帯工事の關係から夏井川改修費の三十三萬の

中から随時運用する譯です、この工事の最大難關は夏井川と同様地主との潰地買収交渉ですが當所としても沿岸方は將來市街地として急激な發展を遂げる重要地區たることを認めて夏井川の潰地價格よりは大体二、三割高を至當と考へてゐる様な譯で、改修完成の曉は平町地方の福利増進となるのですから地主諸氏及び平町當局の充分なる御

援助によりこの工事が些かの支障もなく完成され云々

明日から 測量開始

夏休の學生も 實習の爲めに應援

夏井川改修事務所では古川改修工事着手を控へて同河川の工事測量のため明十八日から二ヶ月間平町外二ヶ村の耕地立入を行ふが測量手は夏休み實習の左記四學生の應援を得て同所測量課員二名が當る筈にて平町地内の關係地主は諸橋久太郎氏外三十五名である

△仙臺高工鈴木雄四郎
△大山義一 △日本大學工學部小本平雄 柄澤秀雄

明日から 測量開始

夏休の學生も 實習の爲めに應援

招集左記議案を附議するが國道鋪裝工事に貸付する機械はコンクリート・ミキサ(コンクリート練機)レール及びトロ等である、尙從來シボレー原動機を使用してゐた高月臺下ポンプは約二十馬力で揚水に間に合はぬ爲め新にビツク(四十馬力)原動機を購入せんとするものであると

一、九年度配水管布設工
二、高月臺下ポンプ用原動機購入の件
三、國道鋪裝工専用機械無償貸付の件

水道委員 明日協議

平町では十八日午後一時から役場會議室に水道委員を始めて家出と氣付いたが、これと同時に同町字寶海二八管野政則(三)が

妻子を捨て、現金一千圓及び生命保険證書その他を所持して家出した、政則は瘡形色の白の丸顔、一見二十五才位の好男子、ミツ子は昨年春頃から「娘十六戀ごころ」とばかり政則の好男子ぶりに

前後の 思慮も弁へず 妻子ある男と人眼を忍ぶ果

娘は育つ!

家出の後に知る 父親の悲哀

湯本町字傾城四〇入山炭礦坑夫佐善長女紺野ミツ子(七)は去る十三日午前九時頃遊びに行つてくると

告げて 外出したまゝ、夜になつても歸宅しないので家人が大騒ぎとなつたが

父宛に
『不幸の罪を詫びます、一旦家出したる上は二度と歸宅しません、後々の事は兄上に宜敷く頼む』
(原文の儘)

との遺書が発見されたので

商友會 激勵

各部選手を
室橋平商友會長始め幹事一同は目下合宿練習中である母校の庭球、競技、柔剣道の各部を訪れ金一封を贈呈激勵した

平商合宿練習

平商柔剣道部員は來月一日より福島で催される縣下大會出場の爲め十六日より廿八日迄才樋小路元福山靴店跡に合宿し猛練習を行つて居る

駒場將校歸校

平商業學校駒場配屬將校は去る十五日より新湯縣下に行はれた防空演習並に若松武徳殿に開かれた第二師團の劍道試合に参加明十八日午後三時五十三分平着列車で歸平する

澤渡方部教務

石城教育會第五區澤渡外九校の

電話六四〇番

皆様のタクシーへ

此度は夏にふさはしいすが、新しい色彩のニーアクシオン式新車が入車致しました、自動車の御用命はチリンチリン六四〇番を御呼び下さる皆様を新車と共に従業員一同御待ち申して居ります。新車も揃ひましたから遠乗の御用には特に御相談に應じます。

尼子タクシー

電話六四〇番

教務主任會は來る廿日午後一時より澤渡小學校に開會役員の改選を行ふ

馬匹技師檢診

農林省畜産局の大内技師及び番月技手の兩氏は來る廿二日上遠野村馬市場で傳染性貧血馬の檢診を行ふ

平町 入事

△訂正 昨日の「平町入事」に死去者鈴木センさんの本籍二丁目一三とあるは三丁目二三の誤りに付訂正

平町 入事

△銀治町七 中村文一氏長女アツ子さん
△梅香町一七 渡邊直一氏二女惠さん
△死 亡
△一丁目一八 赤津カメヨさん(六二)
△銀治町七 中村アツ子さん(一七)

△南町五八 當時東京市京橋區入船町三丁目一 大谷芳子さん(三三)

貴方のも盗む 手筈でしたと

自轉車泥の圖々しさに 渡邊警部補も舌を巻く

乗逃げの途中で他人に賣却

當時住所不定岩瀬郡須賀川町字馬場東六六生れ無職圓谷勇(三)は本月初旬平町役場通り人家からの

須賀川の

諸地方で 九件の自轉車専門泥を働いて居た事自

白したが他人は事あらうに平署司法主任渡邊警部補

新品同様の自轉車一臺を窃取その自轉車に乗つて好間村に逃走の途次、通り合せた通行人某に金十圓で賣却した事平署に發覺、昨十七日小名濱町で逮捕され取調べの結果若松、郡山

無届の野菜市場

平町から平窪村へ警告

平窪村青年團では農産蔬菜果實類販賣のために過般より平町四丁目地内道路に夜間市場を設けたが右道路使用に際し平町規定の道路占用許可願を提出しないので、平町では同市場の名義人である平窪公民學校長井上純氏宛にて警告を發した

平商野球

後援協議

平商野球後援會では昨日午後四時より母校會議室に於て役員會を開き會則制定の

庶務會計新任

武川教諭を 平町商會中心に質疑 工研究

會例會は來十七日午後六時より平府民金庫樓上に開き武川平商教諭を中心に質疑應答がある

第一級長打合

一小學校では本日正午から

鑛毒問題

炭礦と懇談

玉川村では昨十六日村會を招集、本年度戸數割賦課額を決定つて野崎村長以下村會議員ら十五名が入山炭礦を訪問藤原川鑛毒問題に就き懇談する處あつた

警女水泳

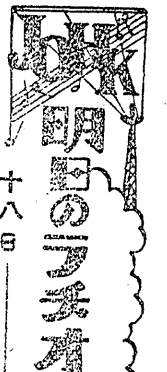
小名濱と決定

既報警女水泳部では八月一日より一週間小名濱町入船

平第一校の學力

平均が八點二分

平第一小學校で執行した第一學期學力考査は二年以上千二百廿四名の生徒に依つて行はれたがその結果全校の平均点数は八點二分で考査問題別によれば讀方が最も良く八點四分、算術が八



明日の天気
今晩も明日も北東の風曇り勝り
天気驟雨あり

今晩の部

後六、〇〇 子供の時間
名作物語 印度の童話
「貧者の一燈」 安部季雄
後六、二五 家庭マツサイ
講義 (第五講) 岡見章
後七、三〇 醫學者及藥學者の疾病豫防及治療への貢獻に就て 醫博小澤修造

明日の部

前六、三〇 基礎英語講座
後八、〇〇 ゴアイオリン
獨奏 フアウスト幻想曲
ニコライシフエルブラツト
後八、二〇 但路峰村利子
後八、四〇 義太夫 傾城
戀飛脚 新口村の段 彈語り竹本小仙
後九、三〇 時報 ニュース
氣象通報 番組豫告

古物商の氣轉で

金物窃取犯人捕る

平町長橋町五二古物商榘淺吉(三)さんは十六日午後十時頃同店へ鉋金二貫匁を賣却に來た職工風体の男を怪しと睨み平署に届け出たので同署では直ちに捜査の結果右は平町五丁目スビーデー工場大内庄吉方徒弟内郷村大字小島字下ノ内二九生坂本梅三(三)で前日五丁目大内直吉方から前記鉋金を窃取したこと判明、檢擧され目下取調べ中であるが同署ではこの犯人逮捕の隠れたる功勞者である礎氏を刑事功勞者として金一封を贈り表彰する事になつた

平驛前貨物ホーム入口

是れ迄は遠方の爲め何にかと御不便を掛けました。が今度平驛前に出張所を設けました。良い品を安くをモットーに毎日午前七時より午後九時迄一般電氣器具、諸機械の附屬品等販賣致します。是非御利用下さい。

本店並ニ
工場
支店 富岡町新町
電話 三九〇番

新特約三菱

菊菱號自轉 (全部マーク入) 實用堅牢車
平局御用 **エビスヤ自轉車店**
平町 電話 六六四番

浮名新立頭

(藤岡上院及上院)

田邊南龍(作)
山本英春(繪)

八五

師匠の嬉し涙(二)

「私は阿母の病氣で駿府から先へ歸つて参りました櫻川でございます」

「オ、櫻川か……何うも餘り立派になつたので分らなかつた、何うしたんだ、エ、五郎藏早く仔細を聞かして呉れろ」

「仔細はこれ、この次第でございます」

「それぢやア元締ひさんの御負になつて」

「バイ仲々此處では申し盡くせません、何卒皆さんへ御禮を仰しやつて下さいまし」

「大きに皆さん有難うございます、みんな私の子供は女ツ子でございます、唯杖とも柱とも思ふのはこの櫻川一人、明け暮れ櫻川の出世のみを祈つて居ります、關取は何の彼んのと云つたつて好い弟子を持たなければ樂は出来ません、百人の弟子を持つて九十九人が食ひ潰してもその内に一人關取が出来りやア好いとしてあります……有難う存じます……コレ阿母は何と云つてる、貴様の心掛が好いからだ……サア俺と並んで歩け」

子の櫻川の方が餘程立派に見えます、雲早戸は櫻川を遣り過ごしては後から見、前へ抜けては回顧つて見て居ります、遂に幡隨院の家へ着きました、雲早戸は只

ろへ出て毎日負けて居ちやア何にもならねえ、一番番附の尾へ出して下さい、そこで東西に御座候隣りへ櫻川と載せました、さて櫻川と番附へ出ると世間の評判は喧しい、

「どうだい今度の櫻川てえのは元締めの息子さんださうだ、今に大關になる人だ」

「へエ長兵衛さんの子なんだつて」

「さうさ」

「さうさ」



嬉しさに泣くばかり、それから年寄一同行司へ此の話をすると

「腕前は確に二段目位は取れるから打附二段目へ書出したら」

と聞いて長兵衛は

「それは不承知だ、長兵衛の顔で番附ばかり好いと云

ざいませう、さうすると長兵衛さんが十二の時の子で

「ナニ、長兵衛さんの弟だ」

「さうぢやアない長兵衛さんの兄さんでございます」

「番附を見てもないぢやアありませんか」

「一番尻にありません」

「何だ評判ぢやア大關にでもなつた様に云ひ觸らすか」

「こんな所に居るんですか」

「番附を引つ繰返しにすりやア大關になります」

「さうさ」

「さうさ」

「さうさ」

「さうさ」

「さうさ」

「さうさ」

「さうさ」

「さうさ」

「さうさ」

「さうさ」

「さうさ」

「さうさ」

「さうさ」

「さうさ」

「さうさ」

「さうさ」

「さうさ」

「さうさ」

「さうさ」

「さうさ」

「さうさ」

「さうさ」

「さうさ」

「さうさ」

「さうさ」

「さうさ」

「さうさ」

「さうさ」

「さうさ」

「さうさ」

「さうさ」

「さうさ」

「さうさ」

「さうさ」

「さうさ」

「さうさ」

「さうさ」

「さうさ」

「さうさ」

「さうさ」

「さうさ」

「さうさ」

「さうさ」

「さうさ」

「さうさ」

「さうさ」

「さうさ」

「さうさ」

「さうさ」

「さうさ」

「さうさ」

「さうさ」

「さうさ」

「さうさ」

「さうさ」

「さうさ」

「さうさ」

「さうさ」

「さうさ」

「さうさ」

「さうさ」

「さうさ」

「さうさ」

「さうさ」

「さうさ」

「さうさ」

「さうさ」

「さうさ」

「さうさ」

「さうさ」

「さうさ」

「さうさ」

「さうさ」

「さうさ」

「さうさ」

「さうさ」

「さうさ」

「さうさ」

「さうさ」

「さうさ」

「さうさ」

「さうさ」

「さうさ」

「さうさ」

「さうさ」

「さうさ」

「さうさ」

「さうさ」

「さうさ」

「さうさ」

「さうさ」

「さうさ」

「さうさ」

「さうさ」

「さうさ」

「さうさ」

「さうさ」

「さうさ」

「さうさ」

「さうさ」

「さうさ」

「さうさ」

「さうさ」

「さうさ」

「さうさ」

「さうさ」

「さうさ」

「さうさ」

「さうさ」

「さうさ」

「さうさ」

「さうさ」

「さうさ」

「さうさ」

「さうさ」

「さうさ」

「さうさ」

「さうさ」

「さうさ」

「さうさ」

「さうさ」

「さうさ」

「さうさ」

「さうさ」

「さうさ」

「さうさ」

「さうさ」

「さうさ」

「さうさ」

「さうさ」

「さうさ」

「さうさ」

「さうさ」

「さうさ」

「さうさ」

「さうさ」

「さうさ」

「さうさ」

「さうさ」

「さうさ」

「さうさ」

「さうさ」

「さうさ」

「さうさ」

「さうさ」

「さうさ」

「さうさ」

「さうさ」

「さうさ」

「さうさ」

「さうさ」

「さうさ」

「さうさ」

「さうさ」

「さうさ」

「さうさ」

「さうさ」

「さうさ」

「さうさ」

「さうさ」

「さうさ」

「さうさ」

「さうさ」

「さうさ」

「さうさ」

「さうさ」

「さうさ」

「さうさ」

「さうさ」

「さうさ」

「さうさ」

「さうさ」

「さうさ」

「さうさ」

「さうさ」

「さうさ」

「さうさ」

「さうさ」

「さうさ」

「さうさ」

「さうさ」

「さうさ」

「さうさ」

「さうさ」

「さうさ」

「さうさ」

「さうさ」

「さうさ」

「さうさ」

「さうさ」

「さうさ」

「さうさ」

「さうさ」

「さうさ」

「さうさ」

「さうさ」

「さうさ」

「さうさ」

「さうさ」

「さうさ」

「さうさ」

「さうさ」

「さうさ」

「さうさ」

「さうさ」

「さうさ」

「さうさ」

「さうさ」

「さうさ」

「さうさ」

「さうさ」

「さうさ」

「さうさ」

「さうさ」

「さうさ」

「さうさ」

「さうさ」

「さうさ」

「さうさ」

「さうさ」

「さうさ」

「さうさ」

「さうさ」

「さうさ」

「さうさ」

「さうさ」

「さうさ」

「さうさ」

「さうさ」

「さうさ」

「さうさ」

「さうさ」

「さうさ」

「さうさ」

「さうさ」

「さうさ」

「さうさ」

「さうさ」

「さうさ」

「さうさ」

「さうさ」

「さうさ」

「さうさ」

「さうさ」

「さうさ」

「さうさ」

「さうさ」

「さうさ」

「さうさ」

「さうさ」

「さうさ」

「さうさ」

「さうさ」

「さうさ」

「さうさ」